

# 令和2年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託地区の取組【茅ヶ崎市】

## ○ 研究の目的

茅ヶ崎市教育基本計画のもと、本市の推薦研究校を対象に、児童・生徒の学びの質を高めるための校内研究を柱とした授業改善、特色ある学校づくりの実践研究を継続し、研究成果の普及を図る。

## ○ 研究のねらい

- ① 推薦研究校を対象とした本事業の割当【選択と集中】
- ② 校内研究を中心とした授業改善と特色ある学校づくり【学びの質の向上と教育課程の創造】
- ③ 研究成果の発信【独自性と共有】



	<b>小出小学校（平成30年度～令和3年度）</b>		<b>柳島小学校（令和元年度～令和4年度）</b>
研究テーマ	元気な学びを目指して ～小出の特色（地域教材）を生かした授業～	研究テーマ	もっとやりたい！もっと知りたい！ ～協働的な学びを通じた意欲的に学ぶ児童の育成～
取組の成果	地域の方へのインタビューや資料探しを通して、本校の研究に即した地域を生かした教材の開発をさらに進めることができた。	取組の成果	児童の意欲や思いを大切に教材づくり、授業づくりが実践できた。
取組の課題	地域教材を扱って学習する内容が各教科のどの学習内容に位置づけていくか。また児童の主体的な学びを効果的にどう深めていくか。	取組の課題	感染症対策を行いながら研究授業や協議会をより充実したものにするにはどのように研究を進めていくのがよいのか。
	<b>浜須賀小学校（平成30年度～令和3年度）</b>		<b>小和田小学校（令和元年度～令和4年度）</b>
研究テーマ	深い学びがある授業を目指して ～考える力を育てる～	研究テーマ	一人ひとりの「考えたい」をふくらませる授業づくり
取組の成果	指導案の書き方を共有化できた。評価規準をしっかりと書くことで授業のゴール地点がわかりやすくなっている。	取組の成果	授業研究会以外でも月に一度学年研究会として授業を開き、テーマに向けて学年の実態を把握し、手立てを考えられたこと。
取組の課題	ゴール地点の子どもの姿になるように、思考の流れがわかる板書（構造的な板書）を目指していく必要がある。	取組の課題	児童の本質的な理解につながるような問いや手立てを、児童の具体的な姿をイメージし、より深く考えていくこと。
	<b>鶴嶺中学校（平成30年度～令和3年度）</b>		<b>萩園中学校（令和元年度～令和4年度）</b>
研究テーマ	カリキュラム・マネジメントの充実 ～主体的・対話的で深い学びにつなげる指導の工夫～	研究テーマ	学びの質を高める授業づくり ～各教科、各学級における目指す生徒像を見据えて～
取組の成果	全校・全教科で「学びのぷらん」を生徒に提示することで、生徒が見通しをもって授業に取り組んでいけるようになった。	取組の成果	学級経営面では、全職員がミーティング形式による共有する場を設けることで、経験年数を問わず意見交流ができた。
取組の課題	授業の流れの提示方法が教員個々で異なっている現状があり、教科での統一を図っていく必要がある。	取組の課題	校内研究会などで、事前に代表授業の指導案等をグループで練るなどし、事後だけでなくグループで授業を作り上げていきたい。

総括：成果として、地域教材の活用や各校の特色を生かした授業づくりを推進したことにより、特色ある学校づくりを進めることができたこと、カリキュラム・マネジメントを確立することにより、授業改善が進み、児童・生徒の学習理解をより一層深めることができたことなどが挙げられる。今後も、新学習指導要領に掲げられた「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、推薦研究校と本事業をリンクさせた形での研究を継続していきたい。